

ネットワーク長野県史料協

坂城町の公文書館整備に向けて

坂城町文化センター 所長 青木 昌也

坂城町は戦国時代、甲斐の武田信玄と果敢に戦った村上義清が本城（山城）を備え、江戸時代には幕府直轄の天領として代官所が置かれ、また善光寺詣での往来が盛んな北国街道の宿場町として栄えていました。現在、坂城町は製造業をはじめ、ブドウやリンゴの農産物の生産など「ものづくりの町」として歩んでいます。特に製造業は約240社が創業し、製造品出荷額も1,800億円を超える成長を遂げ、このような産業の発展により住民の生活もめまぐるしく変化し、住宅の建替えも進んできたことにより、保管されていた多くの古文書が喪失してしまったのではないかと危惧をしています。

古文書をはじめとする「文書史料」は、知的財産として保管し広く公開されるものとして、そのアーカイブスを含め整備していく必要があります。

坂城町では平成22年に「さかき歴史同好会」と町公民館講座「古文書金曜会」から、町内古文書の収集と保存施設の設置要望が出されたことを受け、広く町民の皆さんに保管している古文書の寄贈・寄託をお願いするとともに、平成25年度からは「古文書金曜会」の皆さんのお力添えもいただいて整理保存を進め、坂城町文化財センター内に「古文書史料室」を開設し対応しています。

坂城町は、明治22年の市制町村制の施行に伴う合併から3回の合併を経てきましたが、平成の大合併に際しては「自律の町」を選択し今日に至っています。

明治から昭和にかけての町村合併に伴う行政の重要な経過資料は、役場庁舎内に保管がされているものの、近年の政策決定に至る意思形成過程や施行の記録史料については、保存のための制度やプロセスが明確化されていないため、

文書事務の取扱い規程に基づいて、それぞれの担当部署において保存・破棄が行われている状況となっており、一元的に保存管理ができる環境の整備が求められています。

このため、平成26年度には長野市公文書館及び小布施町公文書館、平成27年度には松本市文書館を坂城町文化財保護審議会委員とともに訪問させていただき研修を行ってきました。重要な古文書や行政文書史料は、保存・保管されることを目的として整備されるものではなく、住民の知的財産として活用・公開されることが重要であることは、国が法制定の中で明示しており、アーカイブスの整備も重要なポイントとなっています。

一方、行政の効率化を推し進めていく上で、空いている公共施設の再利活用も重要な課題ですので、これら史料の保管場所と保管環境の整備に活用する方策の検討も進めていく予定です。

公文書館整備のための課題は山積みではありますが、まずは開設されている「古文書史料室」を主に、住民の皆さんが保有され、黎明の機会もなく失われていく恐れのある古文書の整備・公開を最優先にして、更なる取り組みを進めていきたいと考えております。



整理・保存の拠点となる古文書史料室

災害時 わたしたちはどうする？

第2回文献史料保存活用講習会 「災害と資料保全 I」 参加記

平成28年度は、文献史料保存活用講習会を年間で3回実施することになりました。第2回目は長年の懸案であった災害時資料レスキューをテーマにしました。講師に中央学院大学教授白水智さん、国立公文書館調査員寺島宏貴さん、長野市立博物館学芸員細井雄次郎さんをお招きし、県北部地震、神城断層地震の文化財救援の実際についてご講演いただきました。参加した方のご感想を紹介します

軽井沢町立追分宿郷土館 伊藤京子さん

今回の講習会では、災害と資料保存をテーマに、講演と事例発表から、災害で被災した文化財について、何を、誰が、どのようにレスキューするかを学びました。

レスキューのタイミング、救出された資料を整理し、再び活用できるようにするまでの様々な困難や、時には矛盾を抱えながらの活動する際の心の在り方など、被災地での実際の体験に基づく貴重なお話しは大変参考になり、平時から



基調講演する白水智氏

えてきたもの

から何をしておくべきかを改めて確認することができました。

また、同時に語られた、私たちの周りで次々に消滅していく受け入れきれない民俗資料の悩みや、現場での対応など

も、参考となるとともに、心に響きました。

諏訪市教育委員会生涯学習課文化財係 関沢佳久さん

今回の講習会に出席させていただき、災害からの救済だけでなく、地域住民との共通理解を図るための活用までが一連の活動であること、また、今もなお様々な課題に直面しながら継続されていることなど、現場の臨場感とともにお聞きすることができ、大きな成果とさせていただきました。

基調講演に中でも触れられておりましたが、近年の文化庁の動向を見ておきますと、地域の自主性を促す方向へと転換が図られているようです。業務に携わる中でも指定等に限らず文化財を守るためには、地域住民との共有認識が不可欠ではないかと感じることはよくあります。極論ですが、地域によっては文化財の保護と日常生活の向上の二者択一を迫られるという場面も想定されます。そうした際、文化財保護の意識が地域住民に根付いているかどうかが大きな分かれ道になるのかもしれません。

笹本会長のお言葉にもありましたが、文化財の魅力や意義をしっかりと伝える努力を怠らないことを忘れず、日常の業務に励みたいと思います。



質疑応答

平成28年度 長野県史料保存活用協議会のあゆみ (活動報告)

平成28年6月23日(木) 長野県立歴史館 参加者32名

◇第1回理事会・総会

◇第1回文献史料保存活用講習会「資料の保存とデジタル化の現状と課題」

講演 「県立歴史館におけるデジタルアーカイブスの取り組み」

講師 長野県立歴史館文献史料課専門主事 福島正樹氏

平成28年11月11日(金) 長野県立歴史館 参加者60名

◇第2回文献史料保存活用講習会「災害と資料保全Ⅰ」

演題 「激甚災害発生後、文化財関係者はどう動けばいいのか？」

講師 中央学院大学教授 白水 智氏

演題 「栄村「民具大移動プロジェクト」を振り返る」

講師 独立行政法人国立公文書館調査員 寺島 宏貴氏

演題 「神城断層地震の災害レスキューから見えてきたもの」

講師 長野市立博物館学芸員 細井 雄次郎氏

平成29年3月8日(水)・9日(木) 長野県立歴史館 参加者25名

◇第3回文献史料保存活用講習会「史料取り扱い講習」—身近な史料の扱い方 保存の仕方—

講師 (株)清蘭堂

平成29年3月17日(金) 第2回理事会 長野県立歴史館

来年度のおしらせ (予定)

◆飯田市歴史研究所

イベント名: 第15回飯田市地域史研究集会「地域の歴史を描く」

期日: 平成29年7月30日(日) 会場: 飯田市役所C棟3階会議室

概要: 地域の歴史叙述の現状や課題を報告し、地域史の可能性を探る。

◆小布施町文書館

イベント名: 春企画展「ガラス乾板の残した光景」

期日: 平成29年4月25日(火)～9月22日(金)

概要: ガラス乾板に残された100年前の郷土の人々の暮らしや町並みなどの光景を紹介。

◆諏訪市博物館

イベント名: 企画展「上諏訪温泉の歴史」(仮)

期日: 平成29年4月29日(土)～8月27日(日)

概要: 諏訪市の貴重な資源の1つである「温泉」を館や市所蔵資料で紹介します。

◆田中本家博物館

イベント名: 企画展「直虎 須坂の殿様と田中本家」 田中本家博物館

期日: 平成29年4月7日(金)～7月10日(月)

概要: おとこ直虎こと須坂藩の殿様「堀直虎」と須坂藩歴代藩主にまつわる品々を展示。

◆長野郷土史研究会 (長野の絵解きを広める会)

イベント名: 春の信州 絵解き・絵伝の特別一斉公開 (長野・須坂・飯綱の計11ヶ寺など)

概要: 「長野の絵解きを広める会」を発足させました。絵解き・絵伝の一斉公開をおこないます。

◆(公財)八十二文化財団

イベント名: 教養セミナー「水の恵み③海につながる天竜川」

期日: 平成29年5月30日(火) 13:30～15:30 聴講無料・要事前申込

講師等: 馬塚丈司氏(NPO法人代表) 会場: 飯田人形劇場

◆箕輪町郷土館

イベント名: 特別展「幕末のみのわ」

期日: 平成29年10月14日(土)～11月12日(日)

概要: 水戸浪士の松島宿止宿・大田領離脱騒動などについて展示します。

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

平成29年4月1日現在

会員名	郵便番号	会員住所	電話番号
阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町2333-1	0260-22-2270
飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111
飯田市歴史研究所	395-0002	飯田市上郷飯沼3145	0265-53-4670
飯綱町教育委員会生涯学習係	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-6646
伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806 (高遠教育振興係内)	0265-94-2557
上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880
大町市教育委員会	398-0002	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760
小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114
軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466
坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109
佐久市教育委員会 文化振興課	385-0006	佐久市志賀5953	0267-68-7321
信濃町教育委員会	389-1305	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923
須坂市市民共創部生涯学習スポーツ課文化財係	382-8511	須坂市大字須坂1528-1	026-248-9027
諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地2	0266-52-7080
辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央1番地	0266-41-1681
公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008
千曲市教育委員会 歴史文化財センター	387-0012	千曲市桜堂268番地1	026-261-3210
茅野市八ヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300
中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005
長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2673
中野市教育委員会事務局生涯学習課	389-2101	中野市大字豊津2508	0269-38-3112
長野市公文書館 (城山分室)	380-0801	長野市箱清水1-3-8	026-232-8050
長和町教育委員会	386-0603	長和町古町4247-1	0268-68-2127
南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322
公益財団法人 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511
松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1 真田宝物館	026-278-2801
松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2丁目8-25	0263-28-5570
南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007
箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860
宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314
(有) 山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353
長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000

事務局より

本号では現在進んでいる坂城町公文書館構想について現状と今後の動きをご紹介いただきました。行政の力だけでなく地域の皆さんとの連携のなかで公文書館が形作られていく姿は、「地域の史料は地域住民の手で」という住民自治のあり方を示すものです。今後のモデルの一つとなるのではないのでしょうか。今年度は小諸市でも古文書調査室が開館しました。既報のとおり、上田市や東御市、長和町などでも動きが進んでいます。

昨年はメルマガの刊行開始や3回の講習会を開くなどできるだけ会員相互の情報共有を図り活動の活性化を図ろうと模索した1年でした。また災害レスキュー問題も継続的に取り組んでいきたいと思っております。

平成29年度の総会・研修会は東信地区が当番で6月22日(木)軽井沢町追分宿郷土館を会場に開催されます。同館の伊藤京子さんからは「当町には官民の博物館・美術館が多数あり、それぞれ個性的な活動をしております。ぜひ、総会に併せて御来館ください」という歓迎メッセージを頂戴しております。巡検も予定していますのでぜひ万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

今後ともよろしく願いいたします。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 fax 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp